

経営の役に立ち、かつ合理的な内部監査の実現を支援いたします。

内部監査は企業のガバナンスの根幹のひとつです。ところが、その品質レベルを評価するのは難しいものです。経営の役に立つ内部監査を実現するには、一定の基準で評価し、改善を計画する手続きが必要です。国際基準に基づく内部監査の現状評価を、公認内部監査人+中小企業診断士が経営者視点で支援します。

内部監査室を作って、内部監査をしてはいるのだけれど、あのやり方で「やってます」と言えるのだろうか。

内部監査について他社の話を聞いてみたが、やり方が全然違う。どのやり方が正しいのだろうか。

監査法人に言われるままに内部監査をしているが、ずいぶん大変な仕事で、とても長続きしそうでない。もっと合理的にできないだろうか。

内部監査報告書って、どこまで書けばよいのだろうか。フォローアップって、どこまで追いかければよいのだろうか。

私は、内部監査部長に任ぜられてしばらくは、自分たちのやり方が上場企業として妥当なのか不安でした。

そこで、同業・同規模の他社の内部監査部と情報交換をしました。ところが、やり方があまりにまちまちで、参考にはなりません。内部監査は、計画から往査、報告、フォローアップまでの一連のプロセスで、その一部を聞いても参考にはならないのです。

内部監査には国際基準IPPFがあります。そこには、有効性と合理性を踏まえて目標レベルを決めるべき項目もあります。企業の持つリスクを考えて、どこまでやるかを決められるのです。

経営者の役に立ち、かつ合理的な内部監査を目指し、国際基準に精通した公認内部監査人であり、企業経営を支援する中小企業診断士でもある私が、経営者視点でお手伝いいたします。



関連する経歴：

公認内部監査人（2023年認定）、中小企業診断士（1994年登録）。一部上場製造業（化学、連結従業員約4,000名）において、内部監査部長として、2名から4名の部員とともに、会社の全部門および国内外のグループ会社を対象とする内部監査を2008年から約10年間担当。子会社には、製造業、商社、建設業、運送業、廃棄物処理業、病院、事業所向けサービス業など多様で、中小規模の企業を含む。

監査対象企業の現状に応じて、次の一步を指摘・提言するように努めました。中小企業診断士であり、幅広い企業に経験を応用します。

Agile Business & Control Design AB&CDコンサルティング事務所

代表 魚谷幸一 e-mail：uotanik@nifty.com 電話：080-5088-6994
住所：〒271-0074 千葉県松戸市緑ヶ丘1-131-5